

青森の良さ音楽で発信

「音楽を通して、青森の良さを全国に伝えたい」「夢を持つ地元若者を応援しよう」。そんな思いから二〇〇〇年七月、弘前市の若者が集まり、ボランティア組織「弘前アクターズスクールプロジェクト」を結成した。地方から音楽を発信する手段として、地元の子による「アイドル」

「弘前アクターズスクール」

ルグループ「りんご娘」をプロデュースしている。現在も新メンバーを募集しており、スタッフは「音楽が大好きで、やる気のある若者に入ってもらいたい。パワーを借りて、地域活性化につなげたい」と話している。
(弘前支社・岡村理穂子)



今秋の初ステージに向けて、歌のレッスンに励む「りんご娘」のメンバーと指導するスタッフの田中裕史さん(左)

「りんご娘」が奮闘中

新メンバー募集 元気な若者集まれ

仕掛け人は、弘前市の自営業樋川新一さん(三三)。高校卒業後に上京。六年前に故郷・弘前市に戻ったとき「都会とは情報や意識に差がある。東京に行かなければ何もできない」と考えた。若者が多

くないと考える若者が多い「りんご娘」を連想させた三人。初ステージは今秋の予定で、三人は「レッスンに励んでいる。応募の締め切りは同五日。対象は県内在住の女性で、年齢制限はない。問い合わせは、弘前アクターズスクールプロジェクト(電話0172-1414、電子メールアドレスkinfo@hsp.tv)。

名前、人気が「アイドルモーション」で合格した三人。初ステージは今秋の予定で、三人は「レッスンに励んでいる。応募の締め切りは同五日。対象は県内在住の女性で、年齢制限はない。問い合わせは、弘前アクターズスクールプロジェクト(電話0172-1414、電子メールアドレスkinfo@hsp.tv)。

「りんご娘」という名前が品名で統一加入した。現在は四月の



音楽による地域おこしを目指す「りんご娘」をプロデュースするスタッフたち。(左から)代表の樋川さん、広報担当の三上重裕さん、楽曲担当の田中裕史さん、渉外担当の渋谷拓弥さん

「歌もダンスも下手で、集団行動も苦手。つらい

「歌もダンスも下手で、集団行動も苦手。つらい



今秋の初ステージに向けて、歌のレッスンに励む「りんご娘」のメンバーと指導するスタッフの田中裕史さん(左)

「りんご娘」という名前が品名で統一加入した。現在は四月の